

○アクションプラン(素案)に対する総合計画審議会委員・専門委員等からの御意見

※意見の内訳～委員:14件、市町村:1件、パブリックコメント:10件(4名)

番号	区分	該当ページ	御意見の要旨	県の考え方
1	委員	15	<p>1人口問題対応プログラム-取組1-1「みやざきで暮らし、みやざきで働く」良さの創出とPR</p> <p>「みやざきで暮らし、宮崎で働く」良さのPRには、良きモデルの提示が大切。魅力ある暮らしをしている人、魅力ある仕事人をこれまで以上に幅広く見つけて県内外に示していく必要がある。</p>	御意見を踏まえ、今後もPRを行ってまいりたいと考えております。
2	委員	15	<p>1人口問題対応プログラム-取組1-1「みやざきで暮らし、みやざきで働く」良さの創出とPR</p> <p>『みやざきで暮らし、宮崎で働く』誇りと良さにしてはどうか。宮崎県への愛着が深まると思われる。</p>	県においては、このキャッチフレーズを使用しながら様々な事業を推進しており、「良さ」には「誇りを持つこと」の意味も含んでいるものと考えております。
3	委員	21	<p>1人口問題対応プログラム-取組3-2住民主体による地域課題の解決</p> <p>住民主体による地域課題の解決には、個別支援から地域全体で支える仕組みづくりが必要で、地域福祉の推進役となる地域福祉協議会の役割が重要であるため、追記すべきでは。</p>	<p>御意見のとおり社会福祉協議会の役割は重要であることから、次のとおり追記します。(資料3 21ページ)</p> <p>○ 住民主体による地域課題の解決を図るため、NPOやボランティア、<u>社会福祉協議会</u>、学校や企業等の多様な主体による連携・協働を推進するとともに、NPOやボランティア活動等に関する情報発信を充実させ、活動への理解促進を図ります。</p>
4	委員	24	<p>1人口問題対応プログラム-取組4-1社会を生き抜く力を育む教育の推進</p> <p>成年年齢の引下げによる単独で契約ができる年齢の引下げや、キャッシュレス化に向け、小学生から高校生までの一貫した金銭教育の推進も必要ではないか。</p>	<p>御意見のとおり、成年年齢の引下げ等により消費者教育の推進もますます重要になるため、引き続き消費者教育を実施してまいりたいと考えております。</p> <p>また、長期ビジョンの分野別施策「B-3-(1)安心で快適な生活環境の確保」において、御指摘の背景も踏まえて世代に応じた消費者教育を推進していく方向性を示しているところです。</p>
5	委員	24	<p>1人口問題対応プログラム-取組4-1社会を生き抜く力を育む教育の推進</p> <p>県民の主な役割の部分に下線部を追記すべきではないか。</p> <p>スマートフォンやパソコンなどのICT機器は、<u>健康に及ぼす影響</u>にも留意し、問題点や危険性も理解した上で、正しく適切に使いましょう。</p>	ICT機器の「問題点や危険性」に、御意見の「健康に及ぼす影響」も含んでいるものと考えております。

番号	区分	該当ページ	御意見の要旨	県の考え方
6	委員	25	<p>1人口問題対応プログラム-取組4-3企業や地域、県民などが教育に参画する社会づくり</p> <p>企業の教育への参画の仕方として、お金を出すという方法もある。企業が参加しやすくなるような制度(減税、優遇等)の検討も必要だと思う。</p> <p>また、自治会等の地域コミュニティづくりを推進するところが、今以上に教育に関わっていけるような体制も必要である。</p>	御意見のとおり、企業や自治会等が教育に参画しやすい制度等の整備は重要であり、「取組4-3 企業や地域、県民などが教育に参画する社会づくり」において、地域ぐるみによる教育の推進や、地域の多様な主体が学校教育に関わるコミュニティ・スクールの導入促進等を図ることとしており、御指摘の趣旨も踏まえながら、具体的な施策を推進してまいりたいと考えております。
7	委員	34	<p>2産業成長・経済活性化プログラム-取組1-2科学技術の進展への対応とイノベーションの創出</p> <p>取組として明記されたことを高く評価。可能であれば、「持続可能性」や「次の時代の育成(新規産業分野創出)・支援」といった、目の前でなく一步先の未来を描くアクションとなると良い。</p>	長期ビジョンでは、「時代の潮流」や「目指す将来像」において、「持続可能性」や時代のニーズに応える「地域の経済と雇用を将来にわたって担う産業」の育成を進めることとしており、それらの考えを念頭に長期的視点も持ちながら、アクションプランに記載の項目を実施してまいりたいと考えております。
8	委員	38	<p>2産業成長・経済活性化プログラム-取組2-2生産性向上と省力化の推進</p> <p>スマート農業・水産業の促進・普及を目指しているが、研修だけではなかなか有効な導入は難しいのではと感じている。このアクションプランをベースに、具体的な推進の仕組み(官民連携で、現場と新しい技術を繋ぎ、試験的導入を企画立案する組織)をつくるなどにより、新しい農業基盤技術の先進地になればと願っている。</p>	御意見も踏まえ、スマート農業・水産業の推進に向け取り組んでまいりたいと考えております。
9	委員	42	<p>2産業成長・経済活性化プログラム-取組3-2地域経済循環の仕組みづくり</p> <p>「宮崎を知ろう！100万泊県民運動」は現在も続いているのか。交流人口・関係人口を増やすには自分たちも外に出る必要があり、年に1～2回程度の家族旅行を県内でのことに違和感を感じ、時代に合わないと思う。</p>	「宮崎を知ろう！100万泊県民運動」は、県民一人ひとりが県内観光や地域の交流活動・イベントに参加することにより、県内経済の活性化や地域間交流の推進を目指すものであり、ふるさと宮崎の魅力の再発見にもつながる取組であるため、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。
10	委員	54	<p>3観光・スポーツ・文化振興プログラム-取組2-1国際水準のスポーツの聖地としてのブランド力向上</p> <p>スポーツへの関わり方に、「する」、「みる」、「支える」、「知る」があるが、「みる」スポーツでの誘客に期待できるのではないかと考えるため、下線部を追記してはどうか。</p> <p>「サーフィンやゴルフ、サイクリング等の「するスポーツ」を活用した観光誘客やスポーツキャンプ・イベント等の「みるスポーツ」で訪れた方々の観光地への誘客など、観光消費額拡大に向けた取組を推進します。」</p>	御意見を踏まえ、次のとおり追記します。(資料3 50ページ)
				○ サーフィンやゴルフ、サイクリング等の「するスポーツ」を活用した観光誘客や <u>スポーツキャンプなど「みるスポーツ」</u> で訪れた方々の観光地への誘客など、観光消費額の拡大に向けた取組を推進します。

番号	区分	該当ページ	御意見の要旨	県の考え方
11	委員	69	4生涯健康・活躍社会プログラム-取組2-3 安全で安心な社会づくり 地域の安全確保に大きく貢献している防犯ボランティアの高齢化による活動縮小が懸念される。次世代のボランティアの育成や、防犯CSR活動を行う企業等の参加を促すなど、引き続き、地域防犯ネットワークの拡大に向けた取組を推進してほしい。	御意見の趣旨は素案に含まれており、御提言の内容も踏まえながら、地域ネットワークの拡大等に努めてまいりたいと考えております。
12	委員	69	4生涯健康・活躍社会プログラム-取組2-3 安全で安心な社会づくり 運転免許証を自主返納しやすい環境づくりの推進については、H31.1に設立された「県高齢者移動手段確保等協議会」においてスピード感をもって議論を深め、全国の先進事例となるよう早期の実現を期待する。	御意見のとおり、運転免許証を自主返納しやすい環境づくりに取り組んでまいりたいと考えております。
13	委員	71	4生涯健康・活躍社会プログラム-取組3-1 誰もが尊重され、活躍できる社会づくり シングルマザー県の目的はこの項目にも含まれるが、人口問題への解決策として提案したものである。実現してほしい。	1人口問題対応プログラムにおきましても、シングルマザーの方も含め、誰もが「ライフデザインを描くことのできる環境づくり」、「子どもを生き育てやすい環境づくり」、「子育てと仕事が両立できる環境づくり」を進めていくこととしております。
14	委員	76	4危機管理強化プログラム-取組1-1危機に 対し的確に行動できる人づくり・地域づくり 平素の備えでは、自治体が保有する災害時避難行動要支援者名簿が各地区に提供され、それを元に避難時の支援計画を策定し、その計画に基づく避難訓練を繰り返し実施し、多くの住民が参加する取組の早期確立が重要。 県・市町村が主体となって、住民、関係機関、団体等と連携協働して、防災・減災対策を推進してほしい。	御意見のとおり、多くの住民が避難訓練等に参加することが重要であると考えております。引き続き、市町村と連携し、防災・減災対策を推進してまいりたいと考えております。
15	市町村	39, 40, 42, 92	2産業成長・経済活性化プログラム p39に「農畜産物」、p40に「農畜水産物」、p42や92に「農林水産物」という文言が出てきているが、「農林水産物」に統一した方が良くはないか。書き分けしているのであれば、表記の考え方を教えてほしい。	文脈上、林産物を含む場合は「農林水産物」、林産物を含まない場合は「農畜水産物」、農畜水産物のうち水産物は含まない場合は「農畜産物」と表記しております。
16	パブコメ	27等	1人口問題対応プログラム 生涯独身の増加が、県の人口減少につながる。 そのことを世間に理解してもらうため、スローガンをポスター掲示するなど、アピールしてほしい。	合計特殊出生率の向上に向け、子どもたちが長期的な視点から人生を考えて豊かな暮らしを築く力を身につけられるよう、ライフデザインに関する学習を推進するとともに、若者に自らの人生設計を考える機会の提供等に引き続き努めてまいりたいと考えております。

番号	区分	該当ページ	御意見の要旨	県の考え方
17	パブコメ	28	1人口問題対応プログラム-取組5-3子育てと仕事が両立できる環境づくり 自分も子育て世代だが、働きながら子育てをする負担は大きい。 宮崎県は他県より子育て世代の女性が働く割合が高いと聞いており、多くの子育て世代が職場で日常生活を送っているということだろうと思うため、子育て世代に協力的な企業が増えるような施策に取り組んでほしい。	仕事と生活の両立支援に取り組む企業の募集・登録や、多様な働き方を推進するための環境整備など子育て支援に取り組む企業等に対して必要な支援等を行うこととしており、御意見も踏まえ、子育てと仕事が両立できる環境づくりに取り組んでまいりたいと考えております。
18	パブコメ	52	3観光・スポーツ・文化振興プログラム-取組1-3外国人観光客の誘致の強化とMICEの推進 外国人観光客向けに「観光資源を新しい体験メニューとして磨き上げます」とあるが、具体的にどのようなものを想定しているのか。外国人にとって魅力のあるアクティビティはサーフィンくらいしか思い浮かぶが、特に山間部で何かあれば教えてほしい。	例えば、豊かな自然を生かした登山やトレッキング、サイクリング、リバースポーツ、神楽体験や焼酎の蔵巡り体験などがあると考えております。
19	パブコメ	57	3観光・スポーツ・文化振興プログラム-取組3-2文化振興による心豊かな暮らしの実現 「アウトリーチ活動」という言葉はあまり聞いたことがないが、一般的な言葉か。分かりにくい言葉には説明があった方が良いのでは。	「アウトリーチ」は、「手を伸ばす」という原語から転じて、文化面では、日頃、文化に触れる機会の少ない人々や関心の薄い人々に働きかけて、文化活動を提供していくことを指し、「アウトリーチ活動」という言葉が初出となるp48に用語の注釈を入れております。
20	パブコメ	63	4生涯健康・活躍社会プログラム-取組1-1福祉・医療人財の育成・確保 事業所における介護ロボット導入支援は、人手不足の中で大切なことだとは思いますが、介護現場では、ロボットに使うお金があれば職員の給料を上げてほしいとの声もある。	事業所における介護ロボット導入支援により職員の負担軽減を図るとともに、処遇改善加算の取得促進等により給与額の増加も図ることとしており、御意見も踏まえ介護人材の確保を図ってまいりたいと考えております。
20	パブコメ	15～17	1人口問題対応プログラム-取組1-1～1-3社会減の抑制と移住・UIJターンの促進 今後は宮崎県への移住を増やすため、東京や大阪だけでなく、埼玉、千葉、名古屋、広島、福岡などにも移住相談窓口を設置してほしい。	県におきましては、東京・宮崎に移住相談窓口を設置して移住相談を実施し、様々な地域からの問合せ等に応じているところです。また、県外で実施される各種イベント等においても本県の魅力を積極的にPRしているところであり、御意見の趣旨も踏まえ、今後とも移住促進を図ってまいりたいと考えております。
21	パブコメ	15, 16	1人口問題対応プログラム-取組1-2若者の県内就業・就学機会の確保と働く場の魅力向上 進学校では、大学進学しか考えておらず、先生の就職指導経験不足と若者の人口減少の深刻化につながっている。県内の公立進学校全てに専門学校指導と就職指導に関する課を設置し、公立学校から専門学校への進学や就職することの魅力を伝え、こうした生徒をもっと増やしてほしい。また、そのためのガイダンス冊子を作成してほしい。	県内の高校においては、生徒の進路希望等を踏まえ進学や就職など多様な選択に対応した進路指導に当たっているところであり、御意見の趣旨も踏まえながら、今後も指導の充実に努めてまいりたいと考えております。

番号	区分	該当ページ	御意見の要旨	県の考え方
22	パブコメ	71	<p>4生涯健康・活躍社会プログラム-取組3-1誰もが尊重され、活躍できる社会づくり</p> <p>中学校・高校で、新入生の時から男子・女子生徒にリボンの付け方とスカートの履き方を指導し、男子生徒のリボンやスカート装着率を約3割、女子生徒のスラックス装着率を約3割とする目標が望ましい。</p> <p>男子がリボンやスカートをつけたり、女子がスラックスを履く人になるべく多い方が目立たず安心して学校生活を送れると思う。</p>	<p>御意見も参考にさせていただき、多様な生き方が尊重され、差別や偏見のない社会づくりを推進してまいりたいと考えております。</p>
23	パブコメ	71	<p>4生涯健康・活躍社会プログラム-取組3-1誰もが尊重され、活躍できる社会づくり</p> <p>男子がイヤリングやネックレス(レディースもの)の魅力を感じ、つけ方と作り方を知ることができるよう、男子限定参加のアクセサリー教室を積極的に開いてほしい。そうすることにより男女どちらもかわいいアクセサリーをつける人が増え、多くの人からそれが似合うことを理解されるようになることが望ましい。</p> <p>男子がつけているイヤリングやネックレスの割合は、それぞれ3割を目指すことが重要。</p>	
24	パブコメ	72	<p>4生涯健康・活躍社会プログラム-取組3-2生涯を通じて学び続けられる環境づくり</p> <p>宮崎の未来を担う子どもたちのために、また日本一の読書県を目指し、専任・専門・正規の司書資格を有する「高校の学校司書」を全県的に配置し、学校図書館を充実させるべき。また、図書館改善を10年計画等で進め、県立図書館・高校図書館・市町村立図書館の人事交流を図るべき。</p>	<p>現在、県立学校においては、司書資格を有し、図書館活動や読書活動及び図書館を利用した学習活動の活性化を図る学校司書エリアコーディネーターを配置しており、その効果等を踏まえ、今後も学校図書館が持つ機能を有効に活用し、子どもたちの自主的・自発的な学習活動の促進や読書活動の充実に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、県立図書館においては「宮崎県立図書館ビジョン」（計画期間H30年度から10年間）を策定し、市町村立図書館や学校図書館と連携・協力しながら、全県での図書館ネットワークの構築に取り組んでおります。</p> <p>さらに県では、平成30年8月に「宮崎県生涯読書活動推進計画」を策定し、「日本一の読書県」の実現を目指して取組を進めているところです。</p>